

## 第5回 受賞作品発表

(2008)



優秀賞

### 米作りの会社「なめがたガキンチョ米会社」経営の試み

[共同執筆]

山本良信さん(茨城県・神栖市立横瀬小学校)・宮崎幹子さん(茨城県・行方市立行方小学校)

#### 作品内容

小学校5年生の総合的な学習の時間における約1年間にわたる実践報告。米作りの本格的な会社経営を通じて経済活動の一端を体験的に学ぶと同時に、勤労に裏付けされた金銭感覚を培い、また自ら考え、判断し、行動する児童の育成を目指しました。こうした取り組みによって子どもたちの視野が広がり、大きな達成感が得られた様子が感じ取れます。



優秀賞

### 高校における「求められる金融教育の体系的学習内容」とは何か

—商業高校における金融教育プログラムと授業実践を通して—

小林和夫さん(長野県・長野県小諸商業高等学校)

#### 作品内容

商業高校における学習プログラムの体系化を試みた論文。まず金融教育について考察し、商業教育と金融教育の関係を整理しています。次に体系的な金融教育のプログラムとして、6つの「原理」(貨幣の時間価値とキャッシュフロー、収益率、リターンとリスク等)を基礎におく「商業教育における金融教育プログラム」を作成し、さらにパーソナルファイナンス学習プロジェクト等の特別プロジェクトへと意欲的な実践が報告されています。



優秀賞

### 高校で本当に必要な学びとは何か

—スキルとネットワークの形成をキーワードに授業を変える—

井沼淳一郎さん(大阪府・大阪府立福泉高等学校)

#### 作品内容

学力不足や出席数の不足など多くの課題をかかえる高校で、生徒と教師が共同で学ぶ探求型学習を中心とした授業の実践報告です。そこではスキルを身につけ、将来役立つネットワーク形成を可能にすることが大事であるとし、調べ学習に積極的に取り組んだり、自分のアルバイト先の雇用契約書をもらい労働条件について議論したりします。生徒たちと格闘しながら社会性を身に付けさせようとする日頃の努力が目に見える作品でした。

## 第5回審査員

(敬称略)

阿部信太郎(城西国際大学准教授) 宇都宮健児(弁護士) 工藤文三(国立教育政策研究所初等中等教育研究部長)  
西村隆男(横浜国立大学教授) 牧野カツコ(お茶の水女子大学名誉教授) 牧野力(NHK制作局第2制作センター経済・社会情報番組部長) 須田美矢子(日本銀行政策委員会審議委員) 小畑義治(金融広報中央委員会会長)

## 小論文を書くにあたって

◎本文の文字量は、2,000～8,000字以内(文末に文字数を明記して下さい。パソコン出力可。途中の空白マスを含む)。字数が不足、超過している作品は審査対象となりませんので、ご注意ください。

- ・資料(写真・図表・指導計画書等)については、文末に添付して下さい。  
ただしA4用紙10枚以内(A3用紙の場合5枚以内)の分量とし、それぞれ資料であることの明記をしてください。
- ・横書きを基本としてください。

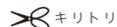
◎下面にある応募用紙に、選択テーマ、作品タイトル、(共同執筆の場合は代表者の)氏名(ふりがな)、勤務先(所属先)名(ふりがな)、年齢、性別、勤務先・自宅の住所・電話番号、共同執筆の場合は執筆者の人数を記入し、応募作品の表に添付してください。  
・応募用紙はコピー可。ホームページからダウンロードすることもできます。

◎共同執筆の場合は、応募用紙とは別の用紙に、共同執筆者全員の氏名、勤務先(所属先)名、勤務先・自宅の住所・電話番号を明記して、応募作品に添付してください。共同執筆者の過半が応募資格を満たしていなければならないものとします。

- ◎著書、雑誌、新聞、研究発表等からの引用は、必ず出所を明記してください。
  - ・本文の引用箇所末尾に(※)を付し、その出所を文末、又は章、節の末尾に記載してください。
  - ・引用が複数ある場合は(※1)(※2)のように番号を振ってください。
  - ・出所は、著者、書名、引用ページ、出版社、出版年、新聞名、日付、ホームページ名、アドレス等を必ず明記してください。
  - ・添付資料についても出所をもなく明記してください。

[応募資格] 幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校教師、教職課程在籍・教職を目指す大学生、大学院生、大学教員等研究者  
[賞] ●特賞 1編(賞状と賞金30万円) ●優秀賞 2編(賞状と賞金10万円) ●奨励賞 5編(賞状と賞金3万円)  
[締め切り] 平成21年9月30日(水)※消印有効  
[発表] 12月下旬、金融広報中央委員会HP(www.shiruporuto.jp)などで発表。  
[表彰式] 日本銀行本店内に開催。  
[送付先] 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F 金融広報中央委員会コンクール事務局  
「金融教育を考える」第6回小論文コンクール係  
[問い合わせ先] TEL.03-6267-4314(土・日・祝日を除く10時～17時)

[個人情報の取扱いについて]  
●応募者の個人情報は、入選作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者ならびに当コンクール業務受託先が責任をもって管理いたします。●応募者本人の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合には、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・勤務先(所属先)及び作品の一部は金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。



キリトリ

### 「金融教育を考える」第6回小論文コンクール 応募用紙

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用いたしません。

|                               |                            |                                 |    |           |
|-------------------------------|----------------------------|---------------------------------|----|-----------|
| 選択テーマ                         | 作品タイトル                     | ふりがな<br>勤務先(所属先)名               |    |           |
| ふりがな<br>お名前                   | ※共同執筆の場合は、代表者のお名前のみご記入下さい。 |                                 | 年齢 | 性別<br>男・女 |
| 勤務先(所属先)住所 (〒 - )<br>都道府県 市区郡 |                            | ※共同執筆の場合のみ記入<br>代表者<br>含む計 名で執筆 |    |           |
| ご連絡先 ( )                      |                            |                                 |    |           |
| 自宅住所 (〒 - )<br>都道府県 市区郡       |                            | ※マンション・アパート名等も必ずご記入下さい。         |    |           |
| 自宅電話番号 ( )                    |                            |                                 |    |           |

- ※お手数ですが下記のアンケートにご協力をお願いします。  
●このコンクールはどちらで知りましたか? (複数回答可)  
1.ポスター 2.新聞や本 3.ホームページ 4.知人から 5.その他( )

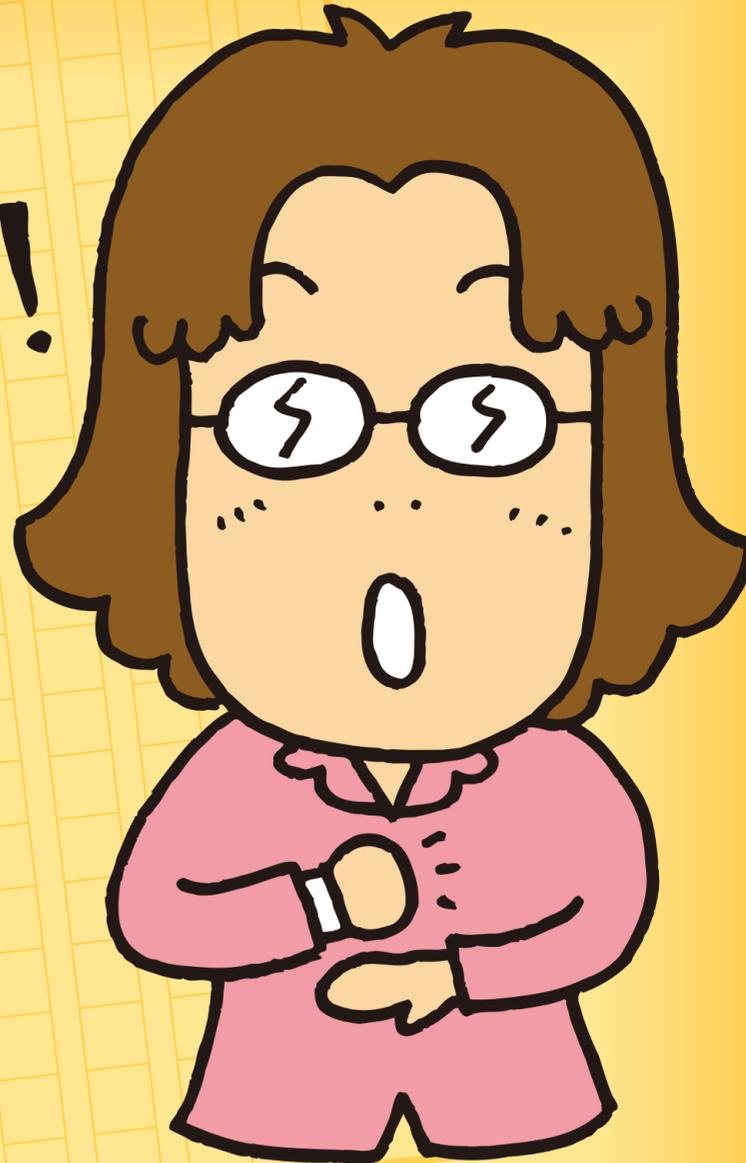
※応募に際し下記内容に相違がなければ必ず  に  を入れてください。

この作品は当コンクールのために私が新たに執筆した未発表のものです。

事務局記入欄

## 第6回

# 金融教育を 考える 小論文コンクール



先生、研究者、教員を目指す学生の方の積極的なご応募をお待ちしております。(共同執筆の応募も可能です。)

特賞×1(賞状と賞金30万円)  
優秀賞×2(賞状と賞金10万円) 奨励賞×5(賞状と賞金3万円)

締切

9/30

※消印有効

小論文の  
テーマ

- ① 金融教育に関する授業や学校行事での実践報告
- ② これから取り組んでみたい金融教育
- ③ これからの時代に求められる金融教育
- ④ 金融教育をさらに普及していくための提言
- ⑤ その他

コンクールの詳細についてはホームページをご覧ください。  
金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL. 03-6267-4314(土・日・祝日を除く10時～17時) / www.shiruporuto.jp

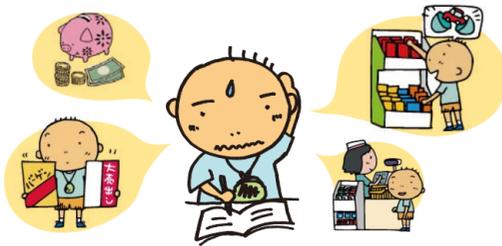
知るぽると  
金融広報中央委員会

R30  
日本銀行

主催:金融広報中央委員会 後援:金融庁/文部科学省/日本銀行

# 金融教育とは

金融教育は、「お金にかかわる幅広い教育」であり、子どもたちの「生きる力」を育てます。



お金は日々の生活の中で必要なものです。現代社会においては、小学生のうちから、お金を使う機会が日常的にあったり、電子マネーなどのように、無意識のうちにお金を利用したりしていることも珍しくなくなっています。一方で、実生活における家庭での手伝いや経済的事情から勤労を強いられることは、かつてに比べれば減っているといえるでしょう。

また、長い目でみると、お金は、進学、就職、結婚、子どもの誕生などの人生の節目に比較的大きな単位で必要となるほか、人生においてどのように使うのかは一人ひとり異なるものです。

そのため、未来の社会を担う子どもたちには、お金についての基本的な知識を学び、お金とどのように付き合っていくのかを考えることが、とても重要なこととなります。

これまでも学校では、子どもたちは、「物を大切にすること」、「勤労に感謝すること」、ならびに「勤勉に働き人の役に立つ」ことを学んできました。これらの学びの中でお金に対する正しい知識や態度を身につけることはとても大切であり、こうしたことが人格の基礎を形成するといえます。

## 「生きる力」を育む金融教育 金融教育の目標と4つの分野



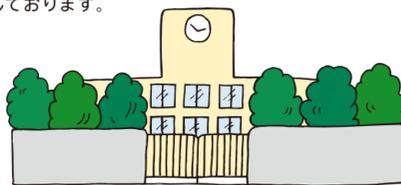
本コンクールにはこれまで、学校内外を学びの場とする体験学習や、子どもたちの自発的な調べ学習や話し合いなどを通じ、金融教育に触れた児童・生徒たちが、生きた社会を知り、学力を確実に身につけると同時に、自立して判断していくことを学んでいたり、将来の自身の生き方を考えていったりする様子をお寄せいただきました。

それぞれの学校で、子どもたちのために、様々な工夫を凝らした授業が計画され、実施されていることと思います。幼稚園・小学校・中学校・高等学校で、実際に行われている授業の実践や、実施に当たっての先生方の考え方を、この機会に小論文にまとめ、ご応募いただければ幸いです。学校全体として実践報告を応募いただくことや、グループなどによる共同研究による執筆も歓迎です。

大学院生や大学教員等研究者の方には、これからの時代に求められる金融教育についての提言をお願いします。また、将来、教壇に立とうとしている大学生・大学院生の方には、ご自身が取り組んでみたい金融教育についての意欲的な提言を期待しています。

当委員会では、金融教育に取り組む一助となるように刊行物を発行していますが、これらの冊子に掲載している指導計画を実践してみたい反省点、改善された点や生徒の反応などのレポートも歓迎します。「はじめての金融教育」、「金融教育プログラム」や「金融教育ガイドブック」をご参照ください。

金融教育のさらなる普及・推進のために、多くの方からの積極的なご応募をお待ちしております。



# 実践例

## 賢い消費者になろう ロールプレイング

～いろいろな販売方法を知り、適切な選択、購入の態度を身につける～

石川県能美市立根上中学校 朝倉 京子教諭



## 改良しながら今年で7年目を迎えるプログラム

今回紹介するプログラムは、6年前、朝倉京子先生が根上中学校に在任中に始めたものです。その後、朝倉先生は県内の別の中学校に転勤されましたが、その間もこのプログラムを改良しながら実践してこられました。今回見学させて頂いた授業は、この7年間の研究・実践の成果とも言えるものです。

まず、このプログラムの全体像を紹介します。狙いは二つあります。第一は「販売方法の特徴や消費者保護について知り、生徒自身が生活に必要な物資やサービスを適切に選択、購入及び活用できるようになること」。そして、第二は「自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活を工夫できるようになること」です。

このプログラムに必要な授業時間は11時間です。大きく5つの内容で構成され、基本的には1年生を対象としています。生徒自身が主体となって参加するロールプレイング形式が採用され、楽しく活動しながら理解できる工夫がなされています。



## ご存知ですか? 学校にお届けしています。

### はじめての金融教育



金融教育に初めて取り組もうと思われる先生向けの冊子。入門ガイドには実践ワークシート集がついているほか、実践事例を収録しています。

### 金融教育プログラム

～社会の中で生きる力を育む授業とは～



学校における金融教育をより効果的に進めるためのプログラム。金融教育の意味と必要性を解説しているほか、学校段階別に指導計画を収録しています。

### 金融教育ガイドブック

～学校における実践事例集～



幼稚園から高等学校までの金融教育の実践事例を紹介した冊子。体験に基づく実践的な学習、話し合い、ゲームなどを中心として45の指導事例が収録されています。

## 2009年テーマ

### 1 金融教育に関する授業や学校行事での実践報告

幼稚園や小学校、中学校、高等学校等の先生方が実践されたお金や金融・経済に関係のある授業や学校行事についてご報告ください。クラスや学年単位、あるいは学校全体での取り組みやPTA・地域と連携した事例などいろいろな実践があると思います。実践された授業や行事に対する児童・生徒の反応や感想のほか、実践して気付いた点や今後改善すべき点などをまとめてください。

### 2 これから取り組んでみたい金融教育

新学習指導要領では、価格や費用、市場における価格の決め方や資源配分、資金の流れや金融の働き、生涯を見通した経済の管理や計画等が盛り込まれるなど、金融経済教育の拡充が図られました。この機会に金融教育に取り組もうとお考えの先生方や、将来教職を目指す大学生から、児童・生徒にどのようにお金や金融・経済について教えてみたいと考えているかお聞かせいただきたいと思います。金融教育は社会科、家庭科に限らず幅広い教科で取り組めますので、意欲的な提言を期待しています。

### 3 これからの時代に求められる金融教育

多重債務問題・消費者トラブルの防止・職業選択等、若者が社会で自立していくためには金融教育が必要とされています。海外でも盛んに金融教育が実施されています。また、わが国の金融・資本市場の競争力強化のためにも金融教育の充実が必要との指摘もあります。おりしも、新学習指導要領では金融経済教育の充実が図られましたが、こうした点についてはどのようにお考えでしょうか。これからの時代に求められる金融教育のあり方について具体的な提言をお願いします。

### 4 金融教育をさらに普及していくための提言

当委員会では、学校で金融教育に取り組んでいただくために「はじめての金融教育」、「金融教育プログラム」をはじめ、各種の副教材を作成し、全国の学校にお届けしています。また、民間金融機関やNPOなど多くの機関も、様々なかたちで金融教育支援策を提供しています。こうした支援策等を利用される教育関係者からみて、今後金融教育をさらに普及していくためには、何が必要なのか意見をお聞かせください。

### 5 その他

上記のテーマに限らず、お金や金融・経済に関係のある教育について、教育に携わる立場から、幅広くご意見をお寄せ下さい。

